

平成 22 年度 地域の“まちづくりびと”養成講座 ～みんなで描こう！住みよいまち～  
第 1 回 「まちづくりってなんだろう？」 ～まちづくりについて考える～

日時：平成 22 年 12 月 4 日（土）

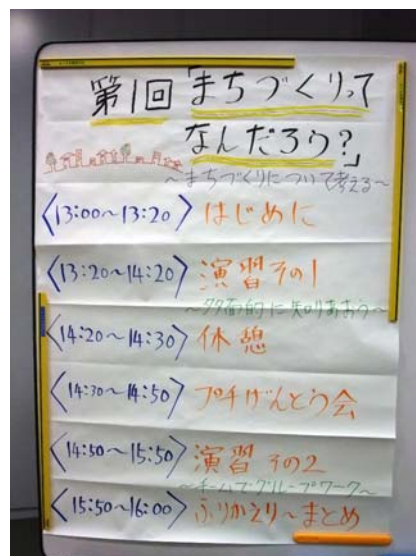
場所：名古屋都市センター 11 階 ホール

時間：13 時 00 分～16 時 00 分

猛暑であった夏が幻のように感じられるほど、冬の足音が近づいてくる中、平成 22 年度地域の“まちづくりびと”養成講座が始まりました。今回は、南区役所との共催で南区笠寺地区をモデルとして、会場も名古屋都市センターと地元のご厚意でお借りした笠寺学区公民館と 2 箇所での開催となりました。

講座の運営スタッフとして、名古屋都市センターと南区役所職員の他に名古屋都市センターまちづくりびと 5 名の方にも加わってもらいました。また、講座全体の講師及びアドバイザーとして、社団法人地域問題研究所の加藤栄司さんに、第 1 回目のファシリテーターとして中京大学社会学部講師でまち楽房（マチラボ）有限会社代表取締役 加藤武志さんをお願いしました。最初の会場の配置も加藤武志さんのアイデアで通常の研修などと異なり、いすが円形に並んでいるだけで、会場に入った受講生も、「おっ」という感じで驚いていました。最初に主催者を代表して、名古屋都市センター 安田まちづくり相談幹より挨拶がありました。

次に、講師並びにスタッフの紹介と本日の流れを名古屋都市センター職員が説明しました。受講生の皆さんも、まだ顔を合わせたばかりで、若干硬い表情です。



**演習 その1 アイスブレイク、「話す」と「聴く」～多面的に語り合おう！**

ここからは、加藤武志さんに講座を進めてもらいます。講座の最初に緊張した雰囲気を和らげるため、アイスブレイク（\*）を行いました。今回は、「全員でひとつの大きな『輪（リング）』になって・・・」という手法です。

受講生だけではなくスタッフも加えて、誕生日が 1 月の人から順番に並んで輪をつくります。1 月 1 日生まれの人隣の 1 月 2 日生まれの



人が並んでいくというものです。ただし、一つだけルールがあります。それは、声を出さないことです。指やアイコンタクトを使って、相手と確認します。さあ、生れた月、日の順番に正しく並ぶことができるでしょうか。

早速答えあわせです。うまく並んでいると皆さんうれしそうです。わずかに日にちが前後していたところもありましたが、一気に場が和みました。言葉や声よりもそれ以外の顔の表情、姿勢や身振りが相手に強く伝わるようです。

次に、2名1組になり、名札づくりを行いました。名札に名前とニックネームを書いたあと、お互いに相手の名札に似顔絵を書きます。皆さんそれぞれ悩みつつも相手の顔を書いています。書き終わるとお互い見せ合い、悲喜こもごもの表情を浮かべています。中にはショックを受けた人もいるようですが、さらに場が盛り上がりました。

続いて、「4つの窓」というアクティビティを行いました。

1枚の紙を4つに折り、できた4つのスペースにそれぞれ次の質問の答えを記入していきます。

- ①ニックネームと好きな食べ物
- ②昔、なりたかった職業
- ③最近うれしかったこと
- ④講座終了時に手に入れたいもの

そして、その内容をお互いに共有します。その手順は、まず、話し手は、書いたものを2分間で相手に伝えます。4つの事項について、なぜ、それを書いたのか、意図や背景を含めて身振り手振りを交えて話をしています。聞き手は、メモを取らずにしっかり相手の目を見て聴きます。皆さん、聴くことに集中しています。その後、「こういう話でしたよね」と1分間に要約して相手に戻します。次に攻守交替して同じことを行いました。

これは、話し方、聴き方のトレーニングで、主に「傾聴」ということを学びました。きくという字には、「聞く(hear)」と「聴く(listen)」があります。「聞く(hear)」は、音として聞こえてくる。一方、「聴く(listen)」は、注意深く中身を理解して聴くという意味が含まれている、とのことです。さらに「聴」という漢字には、耳だけでなく、心と横向きだけど目という字も含まれているので、傾聴というのは、目で見て耳を傾け心に刻むということになります。

まちづくりやその他仕事でも様々な場面において、まず聴くこと、相手の言っていることを理解することから始まります。それができるようになれば、話すこともうまくできるようになるでしょう。

次に話し方については、PREP法を使うとわかりやすい話し方になります。PREP法とは下記の言葉の頭文字です

- P OINT＝ポイント、結論
- R EASON＝理由
- E XAMPLE＝事例、具体例
- P OINT＝ポイント、結論を再度繰り返す



聞き手として事例があるとわかりやすく、短い時間で相手に伝えるには、最初に結論を言うことである、というお話でした。

最後に5分で相手を替えてできるだけ多くの人と「4つの窓」について情報交換を行いました。

中には、7人以上と情報交換した人もいました。

アイスブレイクは、受講生が主役ですが、進行役にとっても効果があり、その後の進行がグッと楽になるとのことです。ここで休憩となりましたが、休憩時間もとても和やかな雰囲気になっていました。



#### \*アイスブレイク

アイスブレイクの意味はアイス（氷）をブレイク（壊す）という意味で、会議やセミナーや体験学習でのグループワークなどの前に、知らない人が集まった際に、その場の雰囲気を和らげるために行うコミュニケーション促進のための2人以上で行うちょっとしたゲームやクイズ、運動などのことです。柔軟体操のような効果があります。このアイスブレイクの手法は色々あります。

### 講座 フキげんとうかい 「まちづくりって？～市民が主役のまちづくり事例紹介」

続いて、市民が主役のまちづくりの事例紹介が行われました。

#### ①観音さまでの実験イベント

中川区の荒子観音でフリーマーケット、ダンス等

#### ②住民参加の公園づくり

三重県亀山市、本町公園の再整備ワークショップ

#### ③川の掃除、川で遊ぶ

日進市、市民グループによる川の清掃、川遊びイベント

#### ④城下町ストリート活性化（犬山）

犬山市、住民、地域、外の人による「おまつり」づくり

#### ⑤市民によるアートマネジメント（文化イベントプロデュース）

大府市、公募市民による文化デザイン塾、企画の作り方から実施へ

#### ⑥竹を活用したまちづくり

犬山市、荒れた竹林、竹を活かした地域づくり

自分たちでやれる身近な事を少しやってみると輪が広がったり、他の人に影響を与えたりしていく。どんなまちでもその財産は「人」とあるというお話をいただきました。



## 演習 その2 グループワーク、発表&共有

### 「理想の未来は？ ～どんなまち、どんな暮らし～」

本日、最後の演習です。最後に3つのグループにわかれ、「理想の未来は、どんなまち、どんな暮らし」というテーマでグループワークです。

各グループには、話し合いを円滑に進めるため、進行&まとめ役のグループコーディネーターとして、講座スタッフが参加します。

まちづくりびとの皆さんは、過去の名古屋都市センター主催の地域の“まちづくりびと”養成講座の修了生です。

最初に、簡単に自己紹介を行います。ニックネームと自分が生まれ変わったらなりたい動物とその理由を話します。

次に、画用紙に自分の住んでいるまちは、どんなまちになっているか、理想のまち、理想の暮らしを言葉でなく、絵で書いていきます。

皆さん、戸惑いながらもいきなり大きく書き始める人、色を塗り始める人など様々です。

次に、ポストイットに自分の絵に含まれている要素をキーワードで3つくらい書き出してみます。そして、絵のタイトルを書きます。個人作業はここまでです。

今度は、グループ内で共有していきます。自分の書いた絵とポストイットを説明します。聴いている人はわからない事は質問して、全員が把握している状態を作ります。

さらに、似たものや近いものなど、絵やカードを模造紙に整理して貼りながら、新たなカードを足したり、マーカーで色を付けたりしながらグループごとに理想の未来を完成させていきます。みなさん、のりやテープを手に和気あいあいと作業を進めています。

最後に模造紙がまとまったら、その理想のまち、理想の暮らしを五・七・五のまちづくり川柳で表現しました。

各グループが整えたら、いよいよ模造紙の中身を説明し、川柳を発表します。1グループ2分の発表時間です。

どのグループからいきますかと問われて暫し沈黙がありましたが、加藤武志さんから早く終わった方が気が楽ですよと促され、「い」グループが立ち上がりました。グループ全員で模造紙を囲んで発表です。

順次、「ろ」グループ、「は」グループと発表していきました。



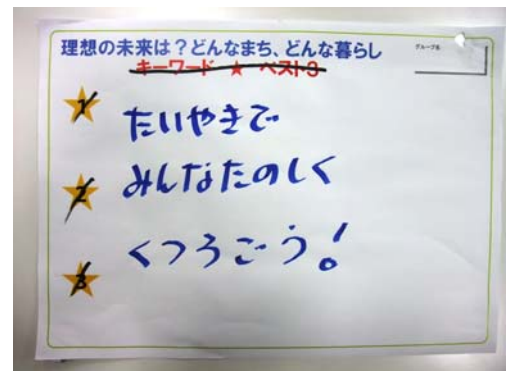
## ふりかえり～まとめ

全体の講師の加藤栄司さんから講評です。加藤武志さんが皆さんの力を十分に引き出してくれた。1人で考えてもあまりいい答えが出ないけれども何人かで考えると色々な知恵が出てくる。それがまちづくりの醍醐味かもしれない、とのことでした。

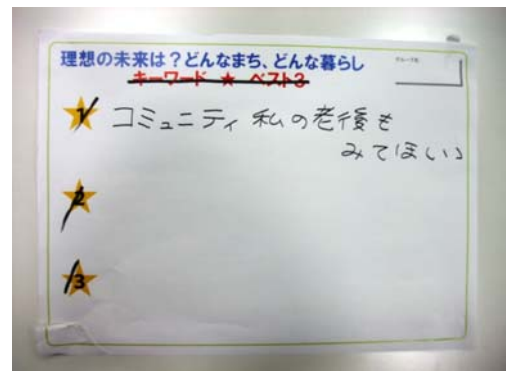
次回に向けての宿題（笠寺について自分のできる範囲で調べてみる）と案内をして第1回講座は終了しました。とても楽しいあつという間の時間でした。



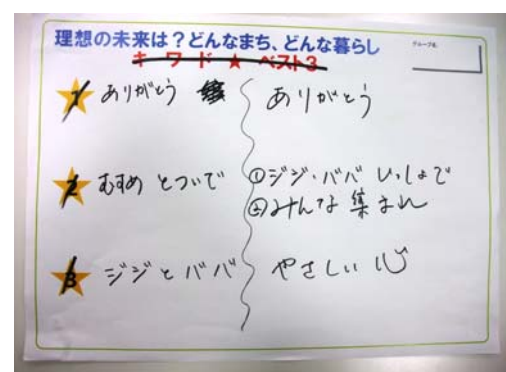
グループ  
い



グループ  
ろ



グループ  
は



**\* アンケートより、全体を通じたご意見・ご感想など \*\***

- ・ テンポよく、ものすごく多くの事を体験できたので非常に参考になりました。まさに“目からウロコ”という感じです。
- ・ 非常に楽しく、まちづくりについて勉強できた。今後も楽しみです。
- ・ まちづくりの意見交換が出来なかった。次回以降に期待！
- ・ 最初のイメージは講義を受ける固いものをイメージしていたが、まちづくりは全員でまとまって考えていくものだと感じかされました。
- ・ ドキドキしながら、でも楽しくできました。
- ・ グループでアイスブレイクでいろいろ話が聞けてよかった。
- ・ これからの町づくりにいかせればと思います。
- ・ アイスブレイクが大切だと感じました。
- ・ 今後もできるだけ参加したい。(多分 OK!!)
- ・ 今後の展開を期待しております。
- ・ もっとかたくりしい感じかと思い緊張していましたが、とても楽しかったです。今後の仲間ができそうで期待がもてました。
- ・ 飛び入りでしたが楽しかった。
- ・ ソフト面から入り、大変楽しかったと思います。仲間とのつながり上、大変たのしかった。